

BEST AVAILABLE COPY

(54) CONTAINING BAG OF PASTE OR LIQUID OBJECT

(11) 3-85260 (A) (43) 10.4.1991 (19) JP

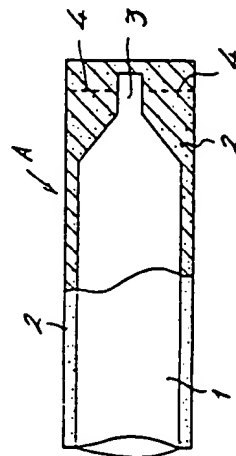
(21) Appl. No. 64-208055 (22) 11.8.1989

(71) TAKIGAWA KAGAKU KOGYO K.K. (72) KOICHI TAKIGAWA

(51) Int. Cl⁵. B65D33/38, B65D33/00

PURPOSE: To easily use without spilling out contents at the time of use by a method wherein two laminate films are overlaid, three sides are heat-sealed with one side left while one directional tip is heat-sealed like a bottle neck and scores for tearing are provided in a range that the scores do not reach directly the neck part.

CONSTITUTION: Two sheets of barrier laminate films 1 are overlaid and three sides are heat-sealed while one of the heat-sealed sides is heat-sealed 2 in a bottle neck shape to mold a bag A to make it a mouth 3. On the heat-sealed part 2 of the bag mouth 3, scores 4 are provided in a range that they do not pass through the mouth 3. A side which is not heat-sealed of the barrier laminate film 1 is opened to permit paste or liquid to be filled and then sealed by heat-sealing after filling is completed. When the contents are to be used, the scores 4 are torn to open the mouth 3 so that the contents can be taken out. After use, the bottle neck part is folded and stored by being interposed with a clip or the like.



⑩ 日本国特許庁(J P)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

BEST AVAILABLE COPY
平3-85260

⑬ Int. Cl.⁹

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成3年(1991)4月10日

B 65 D 33/38
33/00

C

6833-3E
6833-3E

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 ベースト状、液状物の収納袋

⑯ 特 願 平1-208055

⑰ 出 願 平1(1989)8月11日

⑱ 発 明 者 瀧 川 幸 一 千葉県市川市鬼高3丁目32番6号 瀧川化学工業株式会社
内

⑲ 出 願 人 瀧川化学工業株式会社 千葉県市川市鬼高3丁目32番6号

⑳ 代 理 人 弁理士 土橋 秀夫 外1名

明 細 書

1. 発明の名称 ベースト状、液状物の収納袋

2. 特許請求の範囲

アルミ箔のバリア性ラミネートフィルムを二枚重ね合せた後一方を残して三方を熱シールする際、少なくとも、そのうちの一方の先端部にボルトネック状に絞り込んで熱シールを行い、更に前記ネック部に直接かからない範囲で、ネック部の近傍に引裂用のミシン目状の穴を設けた事を特徴としたベースト状、液状物の収納袋。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明はベースト状物、例えば歯みがき、化粧品、ケチャップ、マスタード、味噌等、更には油類、水、ジュース、しょう油等の液状物を充填する収納袋に関する。

〔従来の技術〕

前記ベースト状物、液状物は一般にボトルやチューブに充填収納され商品として市販されている。

〔発明が解決しようとする問題点〕

前記ボトル、チューブのような収納形態が採用された背景には、使用時に注ぎ口又は絞り口を介して充填した内容物が小出し取出され、出し過ぎが防止できる等の利便性がある。しかし、ボトルやチューブ類は特殊な成型機が必要であったり、また容器形態となるためにフレキシブル性を欠く。従って内容物を充填収納した後の倉庫での保管、或いは輸送等荷扱いに高張り、搬送コストが高くなる等の改善の余地がある。一方軽量で、扁平性、フレキシブル性に富む各種のプラスチックフィルムで出来た収納袋で、使用目的に適するものがあるが、使用時に注ぎ口、絞り口が広く、外側にこぼれたり、過剰に出し過ぎたりして扱い難かった。

〔問題点を解決するための手段〕

本発明は所望な実情に鑑み、この問題を解決するため創案したもので、使用時に外部にこぼれ出ないこと、保管輸送に高張らないで簡単に使用できる事を目的に提供するもので、即ち、

ラミネートフィルムを2枚重ね、一方を残して三方を熱シールして少なくともそのうちの一方の先端部はボトルネック状に絞り込んで熱シールし、更にネック部に直接かからない範囲で引裂用のミシン目の穴を設けた収納袋で、ボトル又はチューブ機能を持ちフレキシブル性を持つようにして事の特徴としたものである。

【実施例】

次に本発明に係るベスト状、液状物収納袋の実施例を図面に基いて説明する。

1はバリア性ラミネートフィルムで、該ラミネートフィルム1は例えば、PET₁、/OPE₁、/A₂、/PE₁、/LDPE₁、構成される。このバリア性ラミネートフィルム1をLDPEの面同士が向い合うようにして表裏2枚重ね合わせて、第1図、第2図に示すように、一方を残して三方の熱シール2を施すが、その際に少なくとも一方向の熱シール端がボトルネック状に絞り込んで熱シール2を行い、注ぎ口又は絞り口3となるようにして袋体Aを成形する。

出される。

また使用した後はボトルネック部分を折曲げ返して、この部分をクリップ等で挟むことで収納物を安全に保管できる。

【効果】

本発明は上述のように、アルミ箔のバリア性ラミネートフィルムを二枚重ね合せた後一方を残して三方を熱シールする際、少なくとも、そのうちの一方の先端部にボトルネック状に絞り込んで熱シールを行い、更に前記ネック部に直接かからない範囲で、ネック部の近傍に引裂用のミシン目状の穴を設けた事の特徴としたベスト状、液状物の収納袋で、アルミ箔のバリア性ラミネートフィルムを二枚重ねて一方を残して三方向を熱シールするがその時少なくとも一つの方向の先端部にボトルネック状の注ぎ口を残して絞り込んで熱シールを行ってあり、しかもネックの近傍にミシン目状に穴を設けてあるので、袋体に充填した収納物を使用したい時にはミシン目の穴を手で引裂くことで簡単に注

また袋のボトルネックの注ぎ口又は絞り口3の熱シール部2は絞り口3に突き抜けない範囲でミシン目の穴4を設けて注ぎ口又は絞り口3を引裂いて使うことができるようにしてある。

またバリア性ラミネートフィルム1の前記未熱シール部は開いてベース状又は液状物収納充填し、充填後熱シールを行って封入するようにしてある。

【作 用】

本発明は前記したようにバリア性ラミネートフィルム1を表裏2枚重ねて三方の周縁部と注ぎ口又は絞り口3となるようボトルネック状に絞り込んで熱シール2を行って袋体Aを形成した後扁平となった袋体Aの未熱シール部を開いて、この開口部からベース状又は液状物を袋体A内に充填し、更に熱シールして密封する。更にこの袋体A内の収納物を使用したい時には注ぎ口又は絞り口3側に設けたミシン目4を手により引裂くことで注ぎ口又は絞り口3は開口し、この開口した注ぎ口又は絞り口から収納物は取

り口が開口し、狭い注ぎ口から外部にもらすことなく注ぐことができ、また袋体は扁平であるため輸送、携帯時或いは保管時に嵩張ることのない等の効果がある。

4. 図面の簡単な説明

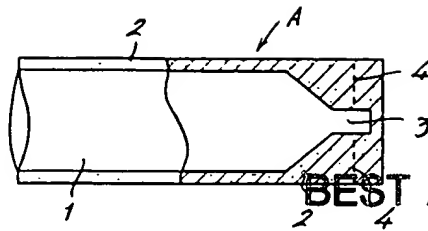
図面は本発明に係るベスト状、液状物の収納袋の実施例を示したもので、第1図は第一実施例の一部を切欠した収納袋の平面図、第2図は他の実施例の一部を切欠した収納袋の平面図である。

1…バリア性ラミネートフィルム 2…熱シール 3…注ぎ口又は絞り口 4…ミシン目の穴

特許出願人 瀬川化学工業株式会社
代 理 人 土 橋 秀
同 江 藤

BEST AVAILABLE COPY

第 1 図



BEST AVAILABLE COPY

第 2 図

